

2018年度 決算説明会 議事録

J F E システムズ株式会社

【決算ハイライト】

- ① 2018年度決算 (カッコ内は2017年度比)
 - ・売上高=42,581百万円(+5.7%)、経常利益=3,448百万円(+22.4%)
→ 売上高・経常利益ともに過去最高を更新。
※鉄鋼部門は高水準の売上を維持し、一般顧客で売上増。
- ② 2019年度見通し (カッコ内は2018年度比)
 - ・売上高=48,000百万円(+12.7%)、経常利益=3,600百万円(+4.4%)
→ 5期連続の最高益更新の見通し。特に、鉄鋼・基盤部門での大幅増収を見込む。
- ③ 配当
 - ・2018年度は前回予想(10/25)の75円/株から+10円の85円/株として株主総会(6月)にお諮りする予定。
 - ・2019年度は90円/株を予想。
- ④ トピックス
 - ・(株)アイエイエフコンサルティングの子会社化
→ ビジネスインテリジェンス(BI)領域に特化した独立系ITコンサルティング会社であるIAFコンサルティングを4/1付で子会社化し、当社BI事業とのシナジー効果を見込む。
 - ・SIDEROS™(シデロス)ブランドの立ち上げ
→ 世界標準のERP製品(SAP S/4HANA、Microsoft Dynamics365)との組み合わせによる最適なソリューションを提供するSIDEROS™ブランドを立ち上げた。
 - ・働き方・企業風土に関する各種認証の取得
→ 2018年11月 女性活躍推進の取組みを厚労大臣が認定する「えるぼし」を取得
2019年3月 障害を抱える社員などが働きやすい職場環境を整備する企業を東京都が登録する「心のバリアフリーサポート企業」の登録証を受領

【質疑応答内容】

- Q1 2018年度実績のROS8.1%に対し、2019年度計画は売上が増えるもののROSは7.5%に留まっている。実力的にROS=8%前後が上限というイメージなのか？
- A1 当社の事業・商品の中には、高収益のものとそうでないものがある。
高収益事業にはまだまだ伸びしろがあり、今後も継続してこの分野に注力することで、当社全体としてROSが8%を超える水準となることは十分可能だと考える。

Q2 2019年度の増収で、基盤部門の伸び率が高いが、どのような計画なのか？

A2 JFEグループ向けのパソコンのライフサイクルの管理の事業を本格化させる。

これまではJFEグループ各社へのパソコンの手配することに留まっていたが、今後は当社が投資し、パソコンの管理も含めた付加価値を付けたサービスとしての事業を本格化していく。

Q3 4/1付で子会社化したIAFコンサルティングという会社の特徴は？

A3 まだ、子会社化して間もないので、何とも言えない部分もあるが、高度な専門性を持ち、モチベーションが高い会社という印象を持っている。当社とのシナジー効果の発現を早い段階で実現したい。

以 上